



西予市議会だより

かけはし

第78号

2023.10.20 発行

令和5年 第3回 定例会

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして

令和4年度一般会計歳入決算	
地方交付税	129億7735万円
国庫支出金	55億3905万円
市債	47億257万円
市税	32億4652万円
繰入金	21億8918万円
県支出金	21億5885万円
繰越金	18億5029万円
地方消費税交付金	8億6008万円
諸収入	6億9085万円
寄附金	3億8110万円
地方譲与税	3億5138万円
使用料及び手数料	3億2048万円
分担金及び負担金	1億3473万円
財産収入	6334万円
法人事業税交付金	5341万円
地方特例交付金	2312万円
環境性能割交付金	2199万円
配当割交付金	1680万円
株式等譲渡所得割交付金	1384万円
交通安全対策特別交付金	383万円
利子割交付金	280万円
歳入合計	356億156万円

令和4年度一般会計歳出(目的別)決算	
民生費	78億3048万円
総務費	47億4182万円
公債費	44億1867万円
農林水産業費	35億7838万円
教育費	29億5054万円
衛生費	26億4601万円
土木費	24億4115万円
消防費	16億6204万円
諸支出金	14億7139万円
災害復旧費	11億6241万円
商工費	7億8505万円
議会費	1億7675万円
労働費	1246万円
予備費	0円
歳出合計	338億7715万円



一般会計決算

歳入総額 356億156万1354円
 歳出総額 338億7714万7031円
 差引額 17億2441万4323円

特別会計決算(合計)	
(歳入)	123億6862万円
(歳出)	120億1169万円

公営企業会計決算(合計)		
	(収入)	(支出)
(収益的収支)	58億9179万円	61億2324万円
(資本的収支)	9億5816万円	14億3909万円

注) 金額は、四捨五入のため、一部端数調整を行う場合があります。

令和5年
第3回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会期 9月1日～10月3日

会議期間 33日間

第3回定例会の議案は

- 専決処分の承認 1件
- 条例改正 3件
- 公有水面埋立てに係る意見の陳述 1件
- 資本金の額の減少 1件
- 補正予算 7件
- 決算認定 11件
- 継続費精算報告 1件
- 健全化判断比率等の報告 2件
- 出資法人等の経営状況報告 8件
- 陳情 1件
- 意見書 1件

全ての議案名と結果は、5ページをご覧ください。

議案ピックアップ



〈議案第65号 一般会計補正予算(6号)〉

Pick up 1

人口減少をゆるやかにするための、子育て世代を応援する事業を補正予算で可決しました

民生費・子育て応援事業

出産後の奨学金返還支援をすることで、若者夫婦の負担軽減を図り、かつ、多子世帯の子育て住環境整備を支援する補助金

衛生費・母子保健事業

子どもを産みやすい環境づくりにつなげるため、通院に要する交通費等のための補助金

Pick up 2

令和4年度一般会計歳入歳出決算を認定しました

決算特別委員会は、主要な施策における事務事業の成果から、各分科会より通告のあった事業について審査を行い、11件の議案を認定した。

10月3日、市長に対し、決算審査で出された意見をもとに、令和6年度の予算編成に向けて政策提言を行った。

令和5年 第3回西予市議会定例会議決結果表

(令和5年9月1日～10月3日)

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
承認6号	専決処分第6号の承認を求めることについて	9月1日	原案承認
陳情第2号	保育士配置基準の改善及び保育士の賃金水準引き上げ等の処遇改善を求める陳情書	9月19日	採 択
議案第61号	西予市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について	9月19日	原案可決
議案第62号	西予市給水条例の一部を改正する条例制定について	9月19日	原案可決
議案第63号	公有水面埋立てに係る意見の陳述について	9月19日	原案可決
議案第64号	令和4年度西予市病院事業会計資本金の額の減少について	9月19日	原案可決
議案第65号	令和5年度西予市一般会計補正予算(第6号)	9月19日	原案可決
議案第66号	令和5年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計補正予算(第1号)	9月19日	原案可決
議案第67号	令和5年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	9月19日	原案可決
議案第68号	令和5年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	9月19日	原案可決
議案第69号	令和5年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月19日	原案可決
議案第70号	令和5年度西予市下水道事業会計補正予算(第1号)	9月19日	原案可決
議案第71号	西予市生活交通バス条例の一部を改正する条例制定について	9月19日	原案可決
議案第72号	令和5年度西予市一般会計補正予算(第7号)	10月3日	原案可決
意見書第2号	保育士配置基準の改善及び保育士の賃金水準引き上げ等の処遇改善を求める意見書(案)の提出について	10月3日	原案可決

表決結果

賛否の別れた議案です。その他の議案については全会一致です。

西予市議会 令和5年第3回定例会
【会期:令和5年9月1日～10月3日】

番号	件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	議決日
		和気	宇都宮久見子	信宮徹也	宇都宮俊文	加藤美香	中村一雅	河野清一	佐藤恒夫	山本英明	竹崎幸仁	小玉忠重	源正樹	井関陽一	中村敬治	二宮一朗	兵頭学	森川一義	酒井宇之吉		
陳情第2号	保育士配置基準の改善及び保育士の賃金水準引き上げ等の処遇改善を求める陳情書	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	採 択	9月19日
議案第61号	西予市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第62号	西予市給水条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第63号	公有水面埋立てに係る意見の陳述について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第64号	令和4年度西予市病院事業会計資本金の額の減少について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第65号	令和5年度西予市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第66号	令和5年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第67号	令和5年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第68号	令和5年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第69号	令和5年度西予市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第70号	令和5年度西予市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
議案第71号	西予市生活交通バス条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決	9月19日
意見書第2号	保育士配置基準の改善及び保育士の賃金水準引き上げ等の処遇改善を求める意見書(案)の提出について	○	○	○	○	○	×		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決	10月3日

(○)：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権 ※議長は表決権がありません(可否同数の場合のみ表決権があります)

こんな質疑が出ました

Q 犬(ねこ)愛護事業30万円について、猫の不妊・去勢手術補助の一部を地域猫への餌やり対策に回すべきでは

A 県からの財政的支援がなくなり地域猫活動の効果的な推進を目指すために、まずは猫の繁殖を抑制することに重点を置いて、猫不妊・去勢手術補助金の30万円を計上した。地域猫に対する無責任な餌やり対策費については、必要があれば対応をとっていく。

Q 卯之町はちのじまづくり事業で施設整備はすべて完了したが、今後、商店街や町並みエリアも含めた活性化を図るための取組、進め方は

A 特定事業者において、ゆるりあんや卯之町駅を核としたイベントの実施、また一般社団法人nfcと連携した重伝建地区商店街にある空き家の利活用対策などを行い、引き続き地域活性化に向けて事業を進める。

陳情 第2号

保育士配置基準の改善及び保育士の賃金水準の引き上げ等の処遇改善を求める陳情

賛成多数 採 択

※内容等は、P7の厚生常任委員会審査報告をご覧ください。

【訂正とお詫び】

西予市議会だより第77号2ページ 特集ページの下段 地域任用職員さんのお名前に誤りがありました。

(誤) 松本真美さん ↓ (正) 松本真実さん
訂正してお詫びいたします。



● 総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

4件の議案を審査

Q 消防団活動に使用するヘルメットを、令和5年度から5力年かけて方面隊ごとに更新していく計画、内容は

A 令和5年度、要望のあった野村方面隊に444個、次に宇和方面隊に449個と更新していく、その後、明浜方面隊、城川方面隊、三瓶方面隊と順に更新していく予定である。

Q 生活交通バスからデマンド乗合タクシーへの移行を希望されている利用者がいるが、今後、移行していく考えは

A 希望があることは、十分理解しているが、タクシー事業所の減少や、運転手不足ということもあるため、今後、事業者とも相談しながら進めていく。

Q 「西予市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく固定資産税の特例措置に関する条例」の対象となる先進的な事業は

A 愛媛県が定めている計画では、先進的な事業に設備投資を行うとする事業者が対象で、南予地域では、食品加工関連産業、機械器具関連産業及び生活関連産業の集積を活用した成長分野に係る事業が対象となる。また、西予市では、本条例による減免の実績はない。

所管事務調査

西予市移住定住 交流センターを視察

移住相談数は、年々増加して、令和4年度は123件であった。移住者数も近年100人を越え、112人であった。

移住定住交流センターは、移住フェアイベントを開催し、移住定住者の増加に努力している。議会としても、移住定住者が増えるように支援していきたい。



西予市移住定住交流センターにて

● 厚生常任委員会



5件の議案と1件の陳情を審査

Q 若年出産世帯奨学金返還支援事業の補助金400万円の根拠は

A 令和5年度の出生見込み数は136名で、うち夫婦ともに29歳以下の世帯は39世帯であり、その25パーセントを見込んでいる。

Q 障害者支援施設野村育成園の改修工事に伴う負担根拠は

A 平成27年度の「ひまわりの家」新築時と同様に、市は、県補助金の2分の1、1億1千万円を計上。

Q 出産等通院交通費の申請時における交通費の添付資料は

A 原則領収書を提出いただくが、領収書が発行できない場合は、精算書にて申請できる。

陳情第2号

「保育士配置基準の改善及び賃金水準引き上げ等の処遇改善を求める陳情書」

採 択

本市においても保育所の人員不足など陳情内容が合致しているとの賛成意見や、すでに国が進める少子化対策の中で取組が進んでいるとの反対意見が出されたが、賛成多数にて採択となる。

所管事務調査

市内3施設を視察

パンを製造する作業スペースを有する地域共生型交流拠点施設「なごみかん」、9月2日、3日の前夜祭とオープニングイベントにて1万人の参加者があった「西予ちぬやパーク」、資源ゴミ処理を行っている「野村クリーンセンター」を視察。

野村クリーンセンターでは、10月より、今まで埋め立てゴミになっていた「その他プラ」は資源ゴミとして再生利用される。



地域共生型交流拠点施設「なごみかん」

産業建設常任委員会



4件の議案を審査

Q 公有水面埋立てに係る意見陳述の内容は

A 埋立て区間の漁業権は、共同漁業権の一部消失について、愛媛県漁業協同組合明浜支部に承認を得ている。埋立区間の工事期間は令和5年から5年計画である。取り合わせ区間等については別途期間が必要になる。

Q 災害復旧事業の国庫補助条件は

A 災害復旧事業の補助条件については、事業費が40万円以上で国庫補助の対象となる。今回は40万円未満の補助対象とならない小規模災害箇所を復旧するため市単独事業として予算計上を行った。

Q 林業用施設災害復旧事業（現年度）の委託内容は

A この委託事業は、地すべり災害の測量設計である。路線は林道東津野城川線であり、城川町川津南にある林道安尾線の合流点になる場所である。

Q 農業集落排水事業の内容は

A 多田地区農業集落排水施設の真空ポンプは、今までも修繕を行ってきたが今回は、取り替えなければ修繕できないような箇所であり、取り替え作業を行うことになった。

所管事務調査

「ふるさと納税」について

委員会にて先進地視察（山梨県山梨市、笛吹町）を行った結果を基に経済振興課と今年度2回目となる意見交換を実施した。
委員会提案の一例
○新たな返礼品、高額返礼品の開拓
○定期便の企画検討
○積極的な情報発信
9月から12月にかけてふるさと納税は増加傾向にあり、積極的な取組により、特産品の販路拡大及び納税額の増加に期待する。



「ふるさとチョイス」で西予市ランキング1位のモンブラン

一般質問



みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問



宇都宮 俊文

Q 現行の有害鳥獣の捕獲・確認方法の見直しと、各地域づくり活動センターでの引き取りはできないのか

A 現在の捕獲・確認方法は、国の要綱及び捕獲確認マニュアルに基づき、西予市版「有害鳥獣捕獲現物確認手順書」を策定し、捕獲個体の現物確認を行っている。現在、現物確認から書面確認への変更について協議しており、令和6年4月から、地域づくり活動センターを含め、確認作業の受け入れができるように調整を図っている。



明浜柑橘加工施設

Q 明浜柑橘加工施設の搾汁ラインの種類及び能力と、冷凍貯蔵施設併設による年間売上また雇用体制は

A 日量24tの原料を処理できるインライン方式の搾汁機器を導入する。また、冷凍施設を併設することで、冷凍保存したジュースの原料を夏場に解凍・瓶詰することができ、年間を通しての雇用が可能となる。今後はこれまでの約2倍となる1.2億円の売上を目標にしている。

一般質問



加藤 美香

Q 地域包括支援センターにおける高齢者の権利擁護の取組は

A 権利擁護事業の実施内容は、高齢者虐待防止に関する広報及び相談支援、困難事例への対応や成年後見制度の啓発と活用支援の強化、消費者被害の防止活動、社会的弱者の支援体制の構築と事業関係者のスキルアップを目的とした地域ケア会議等となっている。

令和4年度の権利擁護に関する相談件数は、虐待案件が22件、成年後見制度利用支援を含む権利擁護相談件数が47件、成年後見制度市長申立要請件数が5件となっている。



年5回配布されている社協広報おあしす

対応方法としては、包括支援センターに相談があったものを、行政や関係機関と連携協働し進めている。相談窓口の周知については、西予市社会福祉協議会が年5回全戸配布している社協広報「おあしす」や、社協が支所ごとに年数回発行している「社協だより」、そのほかホームページ、各研修会等において実施している。

一般質問



二宮 一朗

Q 西予市エネルギービジョン策定の目的と計画期間終了時の脱炭素化のイメージは

A 目的としては、本市における地域特性や政策上の課題を踏まえ、再生可能エネルギーの活用等、エネルギー構造の高度化・転換に向けた取組を推進することを目的として策定した。

ビジョン内の一部事業の実施効果として二酸化炭素削減量について効果検証を行ったが、目的が脱炭素化に向けたビジョンではないため、全ての事業で削減量の検証は行っておらず、計画期間終了時の脱炭素化についての効果はイメージできていない。

一般質問



宇都宮 久見子

Q 地域づくり活動センター移行後の現状や問題点、改善策について

A 始動して半年が経過したが新たな取組のため、まだまだ手探りの所もある。運用をする中で市民からの指摘やご提案を真摯に受け止め、地域とともにそれぞれの地域の特色を生かした拠点となるよう取り組む。

問題点や改善点については簡易的なものは即時対応し、大きな改革はセンター推進計画の見直しに合わせ検討を進める。

一般質問

Q 部活動の地域移行の課題は

A 具体的には、送迎負担への対応、困窮世帯をはじめとする費用面の負担増への対策、教員ではなく地域の指導者が指導にあたることについての不安の解消、既に地域で活動を行っているスポーツ・文化活動の今後の体制をどうしていくか、地域指導者や受入れ団体をどう確保していくかなどがある。



部活動の様子（宇和中学校）

一般質問

Q 交通弱者へのタクシー助成について

A 西予市地域公共交通計画では、バス停までの移動や身近な範囲にある病院、商店までの移動を負担なく行えるよう家用車の代わりとなる移動手段の確保に向けた検討を行うこととしている。

タクシー助成を公共交通施策として導入する自治体が増えているが、財源の確保など課題となるため、利用者や事業所及び関係課とも協議していく。



宇和地域づくり活動センター

一般質問



佐藤 恒夫

Q 指定管理者制度の導入メリットと今後の方向性は

A 自治体側のメリットとして、民間経営者の発想を取り入れることで、地域の活性化を図ることができ、利用者に対するサービス向上も期待できる。

今後は、西予市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、施設の性質に応じて、指定管理者制度の導入を検討し、費用対効果の検証を行っていく。安定した運営ができていく施設や、採算性のある施設については、施設の目的に応じて譲渡を含めて協議する。

一般質問



中村 一雅

Q がんに対する二次予防は

A 国が示す肺がん、大腸がん、胃がん、乳がん、子宮頸がん検診に加えて前立腺がん検診を実施している。受診率が低迷しているため、受診率向上を目的として、各地域づくり活動センターでの実施、また一日で全て受けられる総合健診、託児の実施、女性限定の日、土日健診を実施している。

また、女性特有のがん検診を促進するため、子宮頸がん検診は20歳を対象に、乳がん検診は40歳を対象に無料で実施している。

一般質問

Q 高齢者の相談窓口について

A 相談窓口は地域包括支援センターが役割を担っている。センターは市が設置し、西予市社会福祉協議会に委託しており、野村に本所を置き西予市全域を担当、宇和には支所を置き、明浜・地域で暮らす高齢者や高齢者を支える方の様々な相談を受け、総合的に支援している。



西予市社会福祉協議会本所（野村町）

一般質問

Q ＊アピアランスケアにかかる助成は

A 現在県内では西条市、今治市、宇和島市が医療用ウィッグ・胸部補正具などの購入費用を助成している。西予市ではアピアランスケアにかかる支援は実施していないが、今後、国や県の対策が進むと思われるので、その動向や県内の動向も踏まえた上で対応していく。

＊アピアランスケア
医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと。



マンモグラフィー検診車



一般質問

竹崎 幸仁

A Q 三瓶地区の津波対策は
令和5年3月に「西予市
事前復興計画」を策定し、
その中で「三瓶東地区事前
復興まちづくり計画」をモ
デルプランとして策定した。
引き続き三瓶東地区ワー
クショップで内容を精査す
るとともに、地域からの陳
情書の内容も検討事項に取り
入れ、市民の意向を踏まえ
て、取り組む事業を抽出す
る計画である。

A Q ジオパーク学習への課題
と展望は
展示物の解説が中心で、
生徒たちの体験の場が少な
いこと、教師や児童・生徒
が使用する統一的な学習資
料の作成も必要だと考えて
いる。協議会の教育部会や
学校教育課とも連携を深め、
前向きに取り組んでいく。



一般質問

源 正樹

A Q 公式LINEアカウント
を新設されたが、どのよう
な機能があるのか
A せいや暮らしのアプリで
のごみの日をお知らせする
機能、子育てきずなメール
での情報、各種イベントな
どを中心に配信している。
そのほか、休日当番医や、
広報せいや等、日常的に必
要な情報がすぐに確認でき
る。

A Q 登録者をどのように増や
すのか
現在は、広報やホームペ
ジでの周知にとどまってい
る。登録者の多い自治体の
取組状況を調査研究し、増
やす策を検討し、特性を活
かした情報を発信し、魅力
を感じて登録してもらえ
るよう取り組む。

A Q 地域猫問題への市の対応
は
地域によっては飼い主の
いない猫が急増しており、
その糞尿被害等で生活環境
に悪影響が出ている。令和
3年度から猫不妊・去勢手
術補助金交付事業に取り組
み、手術費用の一部を助成



事前復興計画・事前復興まちづくり計画・
陳情書

さらに、大雨警報など災
害時における情報配信、ハ
ザードマップ、避難所の情
報メニューも用意し、非常
時でも素早く情報に到達で
き、いつでも、どこでも、
簡単に情報を確認できるよ
う機能を構成している。



西予市公式 LINE

登録はこちらから



一般質問

山本 英明

A Q 指定管理者制度の先進地
を視察した手応えは
A 地域医療振興協会が指定
管理している4施設を視察
したが、医師に関しては、
地元大学医学部との関係性
が構築されていた。同時に、
医師確保については十分に
期待が持てる。

療機器の購入等に関しては、
オンラインでの購入委員会
を開催し、情報交換、薬剤
や医療機器の共同購入等で、
経費削減が図れている。



一般質問

酒井 宇之吉

A Q 少子化が進む中、中学校
の統合・再編の時期は
A この10年間で約18パーセ
ントの生徒数が減少してい
る。現時点においては統合・
再編の協議・検討に入るの
は時期尚早であると判断し
ている。ただ、このままの
状況が続くといずれ統合・
再編についての協議・検討
する時期が来ることは避け
て通れないということが想
定される。総合的に勘案し
た中で必要と判断した場合
は、適確な時期に協議・検
討に入りたい。

A Q 人口減少による活動セン
ターでの行政区の見直しは
各センターの人口は最も
多いセンターで8048名、
最も少ないセンターで83名
となっている。
今後の自治会組織の持続
性について危ぶまれている。
行政区の在り方は行政が介
入できるものではないが、
将来的に何らかの対応を検
討していく必要があると認
識している。



野村病院とつくし苑



また、どの施設にでも病
院管理者がしっかりと経営
状況を分析されており、指
導力を発揮されていた。そ
して、地域の病院として各
施設が目指す方向性につい
て幹部間で情報共有されて
いて、それを基に職員への
研修・教育が実践されてお
り、職員の患者さんや訪問
者への対応も的確であった。
更に、全国展開で病院施
設の運営をしているスケー
ルメリットを生かして、医

	10年前		現在		12年後	
	平成25年度	令和5年度	令和5年度	令和17年度(推計)	令和17年度(推計)	令和17年度(推計)
明浜中学校	63	32	32	31	31	31
宇和中学校	446	464	464	328	328	328
野村中学校	189	149	149	68	68	68
城川中学校	95	37	37	27	27	27
三瓶中学校	171	111	111	33	33	33
合計	964	793	793	487	487	487

※単位は人

市内中学生数の推移

令和4年度 政務活動費収支報告

市では、地方自治法に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人あたり月額1万円を前払いで交付しています。(会派の場合、所属議員数に応じて交付) 年度末までに支出残高がある場合は返還します。



●主な支出項目の説明

調査研究費	議員(会派)が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員(会派)が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
資料作成費	議員(会派)が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員(会派)が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費

※この他にも、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、人件費、事務所費があります。

●収支一覧表

(単位:円)

NO	議員名	交付額	支出額	支出項目				返還額
				調査研究費	要請・陳情活動費	資料作成費	資料購入費	
1	和気数男	120,000	16,791	16,791	0	0	0	103,209
2	宇都宮久見子	120,000	0	0	0	0	0	120,000
3	信宮徹也	120,000	118,141	118,141	0	0	0	1,859
4	宇都宮俊文	120,000	0	0	0	0	0	120,000
5	加藤美香	120,000	142,755	142,755	0	0	0	0
6	中村一雅	120,000	0	0	0	0	0	120,000
7	河野清一	120,000	118,141	118,141	0	0	0	1,859
8	佐藤恒夫	120,000	120,841	120,841	0	0	0	0
9	山本英明	120,000	0	0	0	0	0	120,000
10	竹崎幸仁	120,000	142,755	142,755	0	0	0	0
11	小玉忠重	120,000	101,350	101,350	0	0	0	18,650
12	源正樹	120,000	19,360	0	0	0	19,360	100,640
13	井関陽一	120,000	142,755	142,755	0	0	0	0
14	中村敬治	120,000	142,755	142,755	0	0	0	0
15	二宮一朗	120,000	198,539	142,761	55,778	0	0	0
16	兵頭学	120,000	104,050	104,050	0	0	0	15,950
17	森川一義	120,000	71,979	0	0	0	71,979	48,021
18	酒井宇之吉	120,000	118,101	115,141	0	2,960	0	1,899

一般質問



中村 敬治

Q 文化財保存活用地域計画の国の認定後の取組は

A 計画期間は令和6年度から令和15年度までの10年間。中世については、文化財の調査・把握に関する措置の一環として、関連する遺跡のリスト作成やこれまでに採集された資料の調査など、基礎的な調査に取り組む。

Q 森林環境譲与税の今後の用途は

A 令和6年度には、当市に1億3千万円交付見込みで、令和5年度中に活用に向けたガイドラインを策定し、令和6年度以降の事業を推進する。



市庁舎裏手の中世、黒瀬城跡(宇和町)

Q ごみ集積所からの資源ごみの持ち去り対策は

A 実態調査は実施したことはない。各地区の環境委員による調査は可能であり、今後検討する。

Q 資源ごみの売却は令和4年度約2790万円の歳入である。持ち去りを規制する条例は、県内各市町の45パーセントが制定しているが、今後の実態調査を踏まえ判断する。

西予市児童公園「西予ちぬやパーク」オープン

9月3日、宇和町稲生に待望の大型児童公園が完成しました。同公園は西予市が子育て世代からの要望に応え整備したもので、遊具は西予市産の木材をふんだんに使用し、木のぬくもりにあふれたものとなっています。中央の複合遊具は高さ7m、幅およそ30mで24種類の遊びの機能があります。

また、特に一段高くなった築山に設置されたブランコに乗ると空を飛んでいるような感覚も味わえます。

オープン初日は、市内はもとより県内からも多くの家族連れが訪れ、子どもたちの元気いっぴいははしゃぎ声が響き渡っていました。



西予児童公園のネーミングライツ スポンサー契約(II命名権のスパンサー契約)について本市が取り組む『子育て支援』という目的に賛同して頂き、株式会社「味のちぬや」とスポンサー契約を結んでいただいています。

- ・公園の愛称: 西予ちぬやパーク
- ・愛称の使用期間: 令和5年7月1日〜令和15年3月31日
- ・ネーミングライツ料: 年額55万円(税込み)

きかせて！あなたの夢



西予市の中学生が将来の夢を語るコーナーです。



そが いずみ
曾我 唯澄さん（三瓶中学校3年）

私の将来の夢は助産師です。助産師は、母子の健康を支えていく責任があり、母子の命にもかかわる重大な仕事です。また、新たな命の誕生を直接的にサポートできる仕事でもあります。

助産師という夢を叶えるためには、常に他人を思いやることや、精神力が必要だと思います。そのために今からたくさんの人と交流し臨機応変に人を思いやり、どんなに辛いことでもすぐには諦めない精神力を付けていきたいと思います。少しのことでも積み重ねていくことで、夢に近付けることが出来ると思います。

将来、夢を叶え多くの命の誕生を支えたいです。また、感動の瞬間に立ち会うことで命の大切さなどを学べる人になりたいです。

議会レポート ～どうなる？西予市の医療改革～

西予市は西予市民病院・野村病院およびつくし苑の経営改革について取り組み、3施設の将来的な維持と地域医療を確保するため、総務省の支援を受け、経営分析や経営形態の見直し等を検討している。さらに3施設合同検討会においては、以前からの課題である西予市民病院への二次救急の集約や指定管理者制度を含めた経営形態の見直しについて検討しているほか市政懇談会や広報誌、SNSによる市民への情報発信を行っている。

議会では、この問題に議員全員による特別委員会を立ち上げ、行政、医療従事者、振興協会、各旧町住民等と意見交換会を行い、対応をすることになっている。



編集後記



国連の事務総長は「地球温暖化から地球沸騰化」の時代に入ったと宣言、その後、気候サミットにおいて「地球は地獄の門を開いた」と危機感を強く示し、気象庁も「異常気象」の見解を発表。

猛暑の中、市内においては新型コロナウイルスの5類移行後、各地のイベントも少しずつ復活し、人も徐々に増えてきつつありますがインフルエンザの流行が初夏から始まり、安心して過ごせるのはまだまだ先になりそうです。（和気）

◎編集委員

委員長 小玉 忠重
副委員長 和気 数男

信宮 徹也

加藤 美香

佐藤 恒夫

井関 陽一

二宮 一朗